

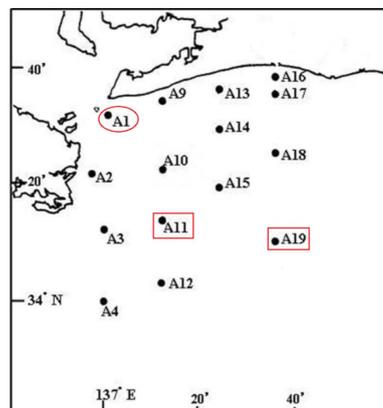
# 海況速報（渥美外海観測結果）

平成 29 年 10 月 13 日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

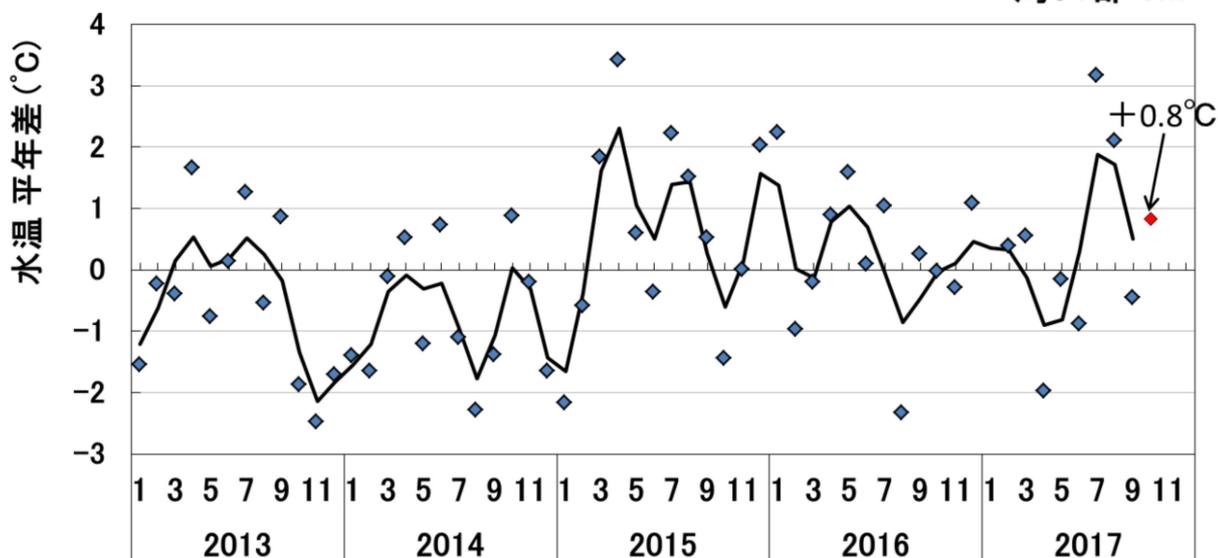
## 【水温の変動】

10月10、11日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部の表層水温は $23.1^{\circ}\text{C}$ で、平年差は $+0.8^{\circ}\text{C}$ とやや高めでした。沖合域の水深200m水温は $11.2^{\circ}\text{C}$ で、平年差は $-0.7^{\circ}\text{C}$ でやや低めとなっており、沖合域では先月までの高水温傾向が解消していました。



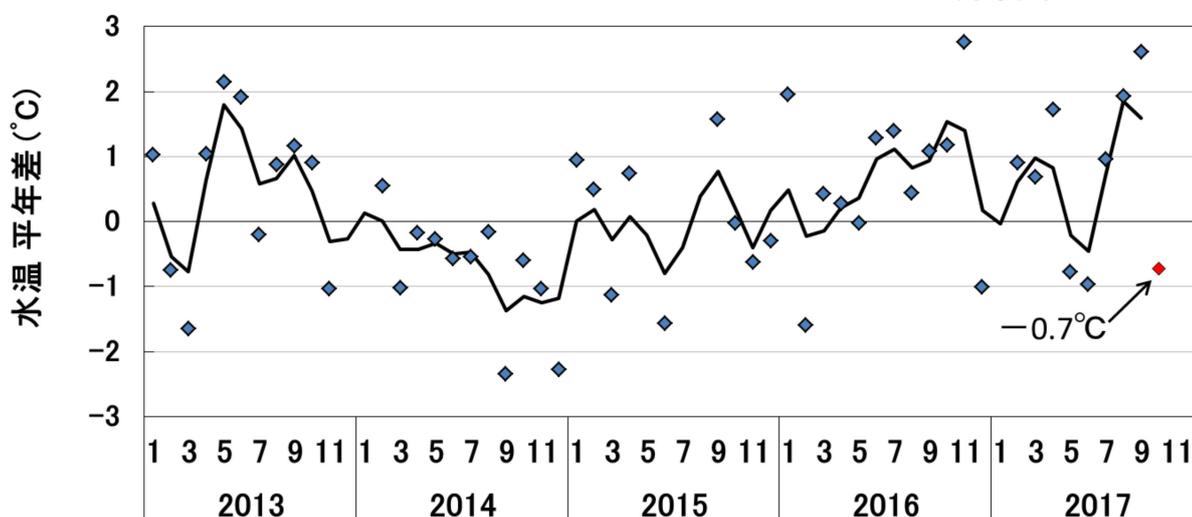
渥美外海湾口部 (A1点) 表層における水温平年差の変動

湾口部 0m



渥美外海沖合域 (A11点とA19点の平均) 200mにおける水温平年差の変動

沖合域 -200m



## 【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で23~25℃、水深100mで15~18℃、200mで10~12℃となっていました。水温の水平分布図をみると、表層では沿岸域で低く、沖合域で高くなっています。水深100~200mでは東側から暖水が流入し、沖合には冷水渦がみられるため、東側の沿岸域で高く、沖合域で低くなっています。鉛直断面図をみると表層水温が低下したため、鉛直混合により水深50m付近まで24℃程度の均一な水塊となっていました。等温線は、右上がりであり、上り潮（西向きの流れ）となっています。

渥美外海における水温の水平分布図と鉛直断面図

